

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	スポーツ産業の国際展開促進事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 八木 和広			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第18条及び第19条			関係する計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日) スポーツ国際戦略(平成30年9月6日) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)					
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした我が国に対する世界からの関心の高まりを捉え、我が国で創出された財・サービスを拡大する世界のスポーツ市場への展開につなげることで、我が国のスポーツ産業の成長を加速させることを目的とする。市場の拡大で得た収益を日本のスポーツ環境の改善等に還元するほか、海外展開に端を発したスポーツを通じた国際交流の促進を通じ、我が国の国際的な位置づけを高める。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	①国内外でのスポーツ産業に関する調査研究成果を活用し、ASEAN地域を対象に、国際的な有力展示会や商談会等の展開支援を行い、現地ニーズと我が国の財・サービスのマッチング実現を図る。②国際的なスポーツビジネス分野に先進的な国際会合への我が国の有望な若手人材の参加を支援することにより、国際的なスポーツビジネスリーダー等とのネットワーク形成等を通じて、中長期的観点から我が国のスポーツビジネスのイノベーションの促進につなげる。③国内における情報提供セミナーを開催し、上記の内容も含めて関心のある国内企業やスポーツ団体等に対して情報提供を行うことにより、新たな気づきの場を提供し、スポーツ産業の国際展開の裾野拡大を図る。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	40	30	45			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	40	30	45			
	執行額		0	0	40					
	執行率(%)		-	-	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	100%					
令和4・5年度 予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	スポーツ振興事業委託費	30	45	令和5年度は、2024年パリ五輪を控えたパリを中心とする欧州と、スポーツ産業の成長が期待できるASEAN地域を重点地域とし、スポーツビジネス会議への出展を強化するほか、タイで開催予定の日ASEANスポーツ大臣会合の機会を利用したプロモーション活動を実施するため、拡充となる。						
				※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	計	30	45							
活動内容(アクティビティ)	国際的な有力展示会や商談会等の展開支援 *令和3年度は出展支援を計画していた展示会「SPORTEC ASIA」が開催中止となり、オンライン商談会を実施。以後、活動目標の計画数字はオンライン商談会を実施した場合の参加社数。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	企業・団体が国際的な有力展示会に出展する機会を創出する。	国際的な有力展示会に向けて支援した企業数	活動実績	団体	-	-	29			
			当初見込み	団体	-	-	20	30	35	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	【国際的な有力展示会への出展支援にかかる1団体当たりのコスト】 国際的な有力展示会への出展事業執行額/有力展示会への出展企業数			単位当たりコスト	円	-	-	412,124	388,980	
			計算式	執行額/件数	-	-	11,951,595円/29社	11,669,412円/30社		

活動内容 (アクティビティ)	プラットフォーム「JSPIN」を通じた情報提供および国内におけるネットワーキングカンファレンスの開催									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	海外進出意向はあるが知見のない企業・団体への情報提供やネットワーク構築支援	海外スポーツ市場の動向・成功事例などの情報提供セミナーへの参加者数	活動実績	人	-	-	236			
			当初見込み	人	-	-	20	250	300	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	【海外スポーツ市場の動向・成功事例などの情報提供セミナーにかかる1団体当たりのコスト】			単位当たりコスト	円	-	-	14,942	17,450	
	情報提供セミナー実施にかかる執行額/情報提供セミナーへの参加企業・団体数			計算式	執行額/件数	-	-	3,526,395円/236人	4,362,600円/250人	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度	
	令和7年度までに25件のスポーツ産業の国際展開に資する企業・団体の取組を創出する	R3年度から当事業によってスポーツ産業の国際展開(海外での事業創出、会社設立等)の取組を実行した企業・団体数	成果実績	人	-	-	0			
			目標値	人	-	-	20	35	50	
			達成度	%	-	-	0			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等									
活動内容 (アクティビティ)	国際スポーツビジネス会議等への人材派遣									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	国際的なスポーツ界と深いネットワークを持った人材を創出する	国際スポーツビジネス会議などに人材派遣した人数	活動実績	人	-	-	5			
			当初見込み	人	-	-	5	5	5	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	【国際的なスポーツビジネス会議に参加する一人当たりのコスト】			単位当たりコスト	円	-	-	553,924	560,000	
	国際的なスポーツビジネス会議支援にかかる執行額/国際的なスポーツビジネス会議等への参加人数			計算式	執行額/件数	-	-	2,769,621円/5人	2,800,000円/5人	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度	
	令和7年度までに10人の国際的なスポーツビジネス分野の国際会合やセミナーの講演者を創出する	海外から認められた国際的なスポーツビジネスリーダーの人数	成果実績	団体	-	-	1			
			目標値	団体	-	-	1	7	10	
			達成度	%	-	-	100			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等									
政策評価 政策 施策	政策	11 スポーツの振興								
	施策	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-2.pdf							
		該当箇所	達成目標3							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、スポーツ基本計画の「スポーツを通じた経済・地域の活性化」及び「スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」において、国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	東京2020大会以降のスポーツ産業の活性化を図り、我が国の基幹産業へ成長させるためには、官民連携や国内外のプラットフォームを構築するなど、国が総合的に推進していく必要がある事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、スポーツ基本計画の「スポーツを通じた経済・地域の活性化」及び「スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」において、国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業の支出先選定にあたっては、本事業をより効果的、効率的に推進するため、十分な公告期間を確保したうえで、企画競争を前提とする公募を行い、その妥当性・競争性を確保した。結果的に一部の事業について一者応札となり、その企画提案について、技術審査委員会で審査を実施した。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査し、その妥当性について適切にチェックを行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	委託事業の遂行に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を都度、厳正に審査し、合理的かどうか適切にチェックを行っている。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	委託事業における事業経費の費目・用途の内容については、都度、厳正に審査し、真に必要なものとなっているか適切にチェックを行っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	その他コスト削減や効率化については、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査し、その妥当性について適切にチェックを行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	新型コロナウイルス感染症により予定していた展示会が中止になり参加ができず、代わりにオンライン商談会を実施した。オンライン商談会の参加者数は想定を上回ったが、開催が1月になったこともあり、今年度中の成約までは至らず、成果には結びつかなかった。商談は継続しており、次年度以降の成果につなげるよう確認していく。一方で、海外から認められた国際的なスポーツビジネスリーダーの人数は目標を達成した。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	その他コスト削減や効率化については、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査し、その妥当性について適切にチェックを行っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	新型コロナウイルス感染症による計画変更はあったが、オンラインの特性を生かし、参加者数は想定どおり、もしくは想定以上となった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	

点検・改善結果	点検結果	事業の活動は、海外から認められた国際的なスポーツビジネスリーダーの目標人数を達成したことや、本事業で始まった商談が継続していることを踏まえると、事業の有効性は確保されている。委託事業の契約および委託額の確定手続きにあたっては、事業計画書、完了報告書により事業経費の費目、用途の内容を審査し、その妥当性と合理性を確認している。
	改善の方向性	事業内容および事業経費の費目・用途の内容を厳密に審査し、事業の必要性を適正にチェックし、低コストでの実施に努める。令和3年度は新型コロナウイルス感染症による事業の内容の変更や実施時期の遅れ等の要因により、十分に成果が達成できなかったことを踏まえ、事業期間中は、事業者と緊密に連絡を取り合い、柔軟に計画の見直しや進捗状況および事業経費の執行状況を確認し、適宜必要な助言を行うことにより、事業者が成果目標を達成できるよう促していく。

外部有識者の所見

事業目的、事業概要において、スポーツ産業の海外進出が我が国のスポーツ振興に直結するものか丁寧な説明が必要である。また、支出先の選定については、競争性の確保に向け検証等が行われているものの、今後の対策について一層の工夫が必要である。

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
な抜業
改善本
的体的

この事業は外部有識者からの指摘を踏まえ、スポーツ産業の海外進出は我が国のスポーツ振興につながるのか明確かつ丁寧に説明すべきである。また支出先の選定にあたっては、競争性の確保等についてより一層の工夫をすべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年
善度
計を
内
検に

スポーツ産業の海外進出が我が国のスポーツ振興につながるのかについては、丁寧な説明を行うよう記載方法を見直す。また、支出先の選定に当たっては、公募内容を効率的に事業が進められるように見直すと同時に、十分な公告期間を確保した企画競争により、妥当性、競争性を確保する。

備考

スポーツ国際戦略について：https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/001_index/bunkabukai003/gaiyou/1408957.htm
 スポーツ立国戦略について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm
 第3期スポーツ基本計画について：https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm

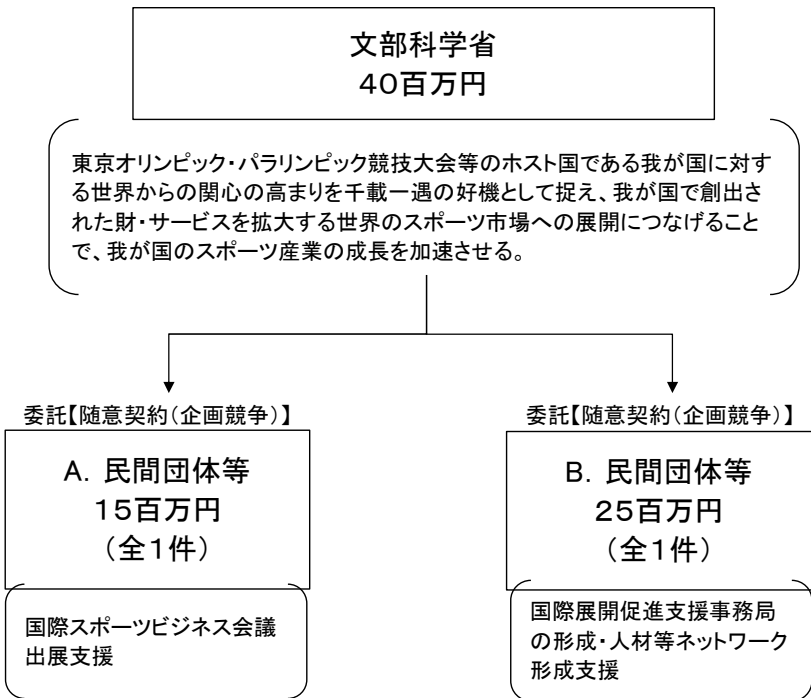
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度	文部科学省	-	
令和2年度	文部科学省	新03 0024	
令和3年度	2021 文科	新21 0013	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社JTB 新宿第三事業部			B.株式会社野村総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	オンライン商談会関連費、動画作成費	13	人件費	人件費	21
一般管理費	一般管理費	1	雑役務費	人材派遣諸経費、ホームページ企画費	4
消費税相当額	消費税相当額	0.7	消費税相当額	消費税相当額	3
借損料	ネットワーキングカンファレンス会場費	0.3	諸謝金	諸謝金	0.3
			自己調達額	自己調達額	▲ 3
計		15	計		25.3

